

おでかけまほろん

12月19日に福島県文化財センター白河館(まほろん)の学芸員の方が、本校高等部に来校されました。「おでかけまほろん」とは、所蔵資料を携えて学校や施設に出向き、歴史や文化財について学習する機会を創出する活動です。

高等部の生徒11名が、総合的な探求の時間「昔の人の生活を知ろう」の中で学習しました。火起こしや縄文風衣装の試着、土器や石器の観察、勾玉作り等、多くの体験活動を通して、生徒達は楽しみながら昔の人の生活に触れ、興味関心をもつことができました。

～ 活動の様子 ～



火起こし体験

マイギリ式という手法で火起こしを行いました。煙が出たら、麻に空気を含ませるように回すと発火に成功しました！



縄文風衣装の試着

麻のできた衣装を着て、昔の人になりきりました！



土器や石器の観察

学芸員の方から昔の人の生活についてのお話を聞き、〇×クイズをしました。その後、土器や石器に実際に触りました。土器の縄目模様の凸凹や石器のとがりを感じることができました！



勾玉作り

四角い石をやすりでたくさん削って勾玉の形にしました。自分だけのオリジナルアクセサリーができました！



学芸員の方に上手だねってほめられました！
自分の勾玉が作れてうれしいです(^^)

